

情報メディア部門

## WebClass の利用状況について

情報メディア部門

黒川 不二雄、西田 孝洋、丸田 英徳

以下、WebClass の利用状況について報告します。

平成 18 年度後半に導入した WebClass は、実質的に平成 19 年度の講義開始時より本格的な運用に入りました。

平成 19 年度は、特に初級者向けの WebClass 講習会を重点的に実施し、実際の授業での利用における問題点などへの対応など、試行錯誤の上での運用となりました。

平成 20 年度は、普及活動を推進するとともに、すでに前年度よりある程度 WebClass の利用に慣れた利用者への対応として、部局ならではの特別な利用方法への対応や、すでに授業への導入後一定の成果をあげている利用者のノウハウを新規利用者の利用に役立てるための取り組みを始めました。その結果、19 年度、20 年度の WebClass のコース数・参加教員数・ユーザ数（教職員・学生）を見ると、確実に普及していることが分かります（図 1）。

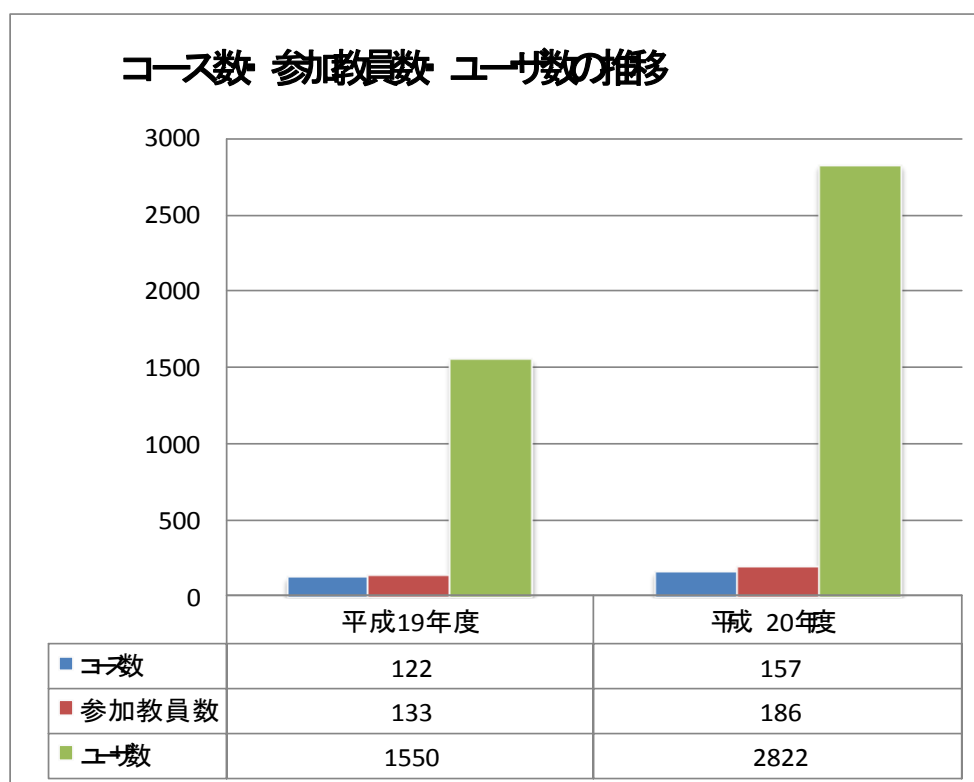


図 1：コース数・参加教員数・ユーザ数（教職員・学生）の推移

また、実際の利用状況について、ログイン数を比較したところ（図2）、平成20年度は、平成19年度と比較して約1.6倍に増加しており、コース数などの増加に比例するかたちで実質的な利用時間も増加していました。これは、単純に「試す」段階から、実際の授業に「活かす」段階へと移行していることをうかがわせています。

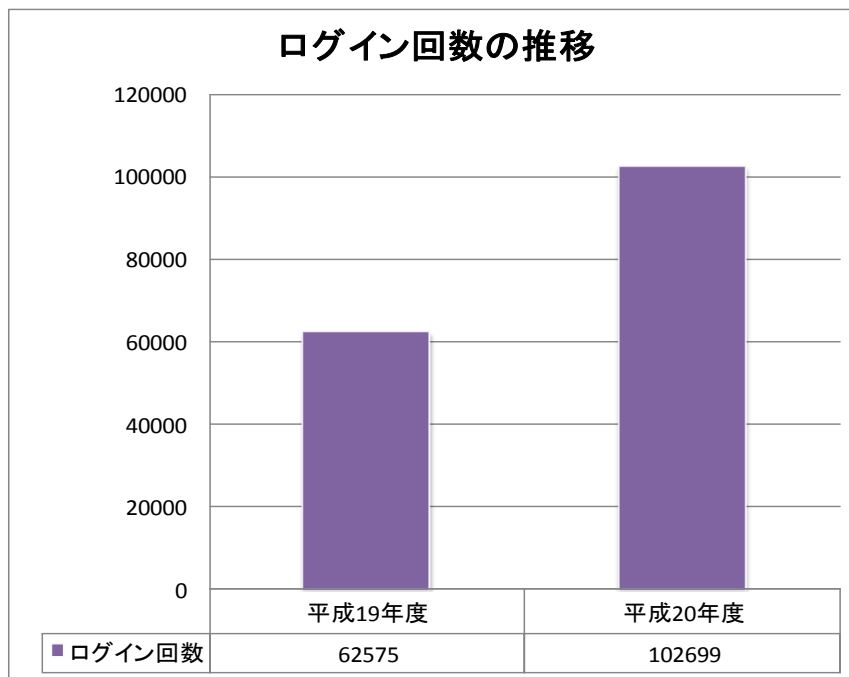


図2：ログイン回数の推移